

内なる淫うらを全て暴き出す、催淫キノコで即墮ちCG集！



- ネッタイウリン -

# 禁体熟涼

Volume.27

～ピ○チ姫とあやしいキノコ～

囚われの身となつたピーチ姫。

いつもも今日とて、クッパによつて  
またいつものように助けを待ち焦がれる…。  
ここクッパ城においては、ごくごく  
ありふれた光景と言えるかもしません。



ただしく牢番の密かな裏切りによつて、  
このあと姫があえなく手縛めにされてしまつ...  
といふ点を除いては。

『ただの脇役に過ぎない彼に味方したのは、  
「コシクダケ』という希少なキノコ。』

世どんも恐淑大女も催淫効果によつて、  
その絶大な催淫効果によつて、  
恐ろしいシロモノです。』



偶然手にしたこのチャンスを、  
彼ほピー姫にぶつけようと企みました。

やる事はただ一つ。食事に少し細工をするだけ。

この地下牢で、それを咎める者は誰もいません。  
あとは時が来るのを待つのみです。

そして待ち望んだその時ほどなくして訪れました。

あの…

どうしたそんなに顔を赤らめて

こほー やう…  
驚いたな

現早くこんなに効果にはが

分からぬ…  
さつきから  
急に身体の奥が…  
ムズムズして

効果…?  
まさか…何か  
んだの…!?

ハハハッ  
に任せ  
るよ

ブル…  
ま、ア  
ンタが  
今どん  
な状態  
かは分  
かるがね

自分じ  
ゃどうも  
できな  
いくらい  
も発情  
してるつ  
らってな?

否定して  
ムダムダ♪

逆すつ  
上せ  
て  
色も顔  
かり  
てるぜ

そだは…  
なんなん  
ん発情…  
…

こんなこと…、  
何の意味が  
あるんですか…！

モジ。  
意味：

モジ。  
それではアンタ  
が次もなあ？

モジ。

ヘ…？

ただ：  
どうしてもつて  
言うんなら

コイツで  
や手助けして  
てもいいぜ?

!?

「盛りのついた  
お姫様の性欲処理」  
つて名目でな♪



突然の災難に見舞われたものの、  
うじて理性を守ろうとした  
ピーチ姫。

おいしそ…

近くで…

男の人の…  
ニオイ…!

ダメ…  
ああ…

ほれほれ：  
どうすんだ？  
早くしないと  
仕舞つちまうぞ

等しいものだつたようですが…  
その葛藤は、当人には数時間にも

撃沈した数分でえなく  
してしまいました。

待まつて！

舐めます！

そへ  
うか  
い：

しつかり  
ご奉仕す  
るんだぞ

ふは  
あ  
い…



ううう  
姫様い  
よお顔してんぜ、

じこず  
やない  
ねれぶ  
えたん  
か咥え  
方  
あのヒゲ  
オヤジに  
仕込まれたのかジ?

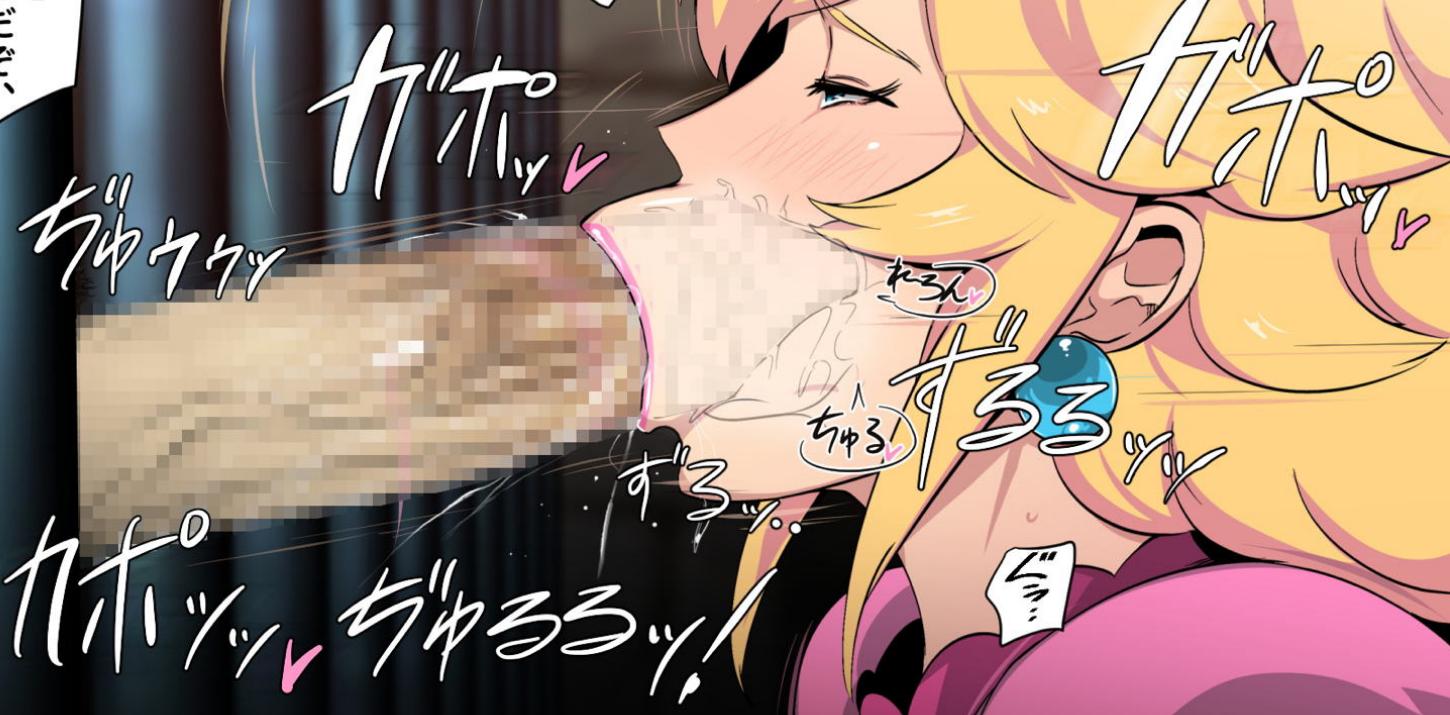
ううう  
ううう  
ううう

あむう  
♥

ふんも  
ウウ  
ウウ



よおしつ：  
ブコのまま中に  
チ撒けてやる  
しつかりと  
い飲み込むんだぞ、  
ツ！んだぞ、





搾喉そ  
りもう  
取使だ  
れつ  
よて



この時、姫は少しだけ平静を取り戻しました。

「私…なんて、はしたない真似を…」

よしよし…  
上出来だ

けど、これだけで  
満足したわけ  
じゃねーよな、  
ん?

しかしその後悔も、そう長くは続きません。  
男の精を飲み込むたびに、心はより強い衝動に支配されてしまいます。

は…い…

そこの…もつと  
下の方、が…

トロニ…

アリ…

下が  
なんだって？

もつと具体的に  
言わないとい  
つかんねえぜ

うつ…

せ：セックス…  
したくて…  
たまらない、です…

しそへ  
よいへ  
うが  
がねーな

熱白姫  
く濡らした秘部を押し付けながら。  
はる気を持ちを抑え、懇願します。

おく…はあ！  
お願いですう

早くしないと…  
気がどうにか…  
なりそうで…！

おうおう、  
穩やかじや  
ないねえ

犬みたつい  
ケツ振つてよ

アリバ

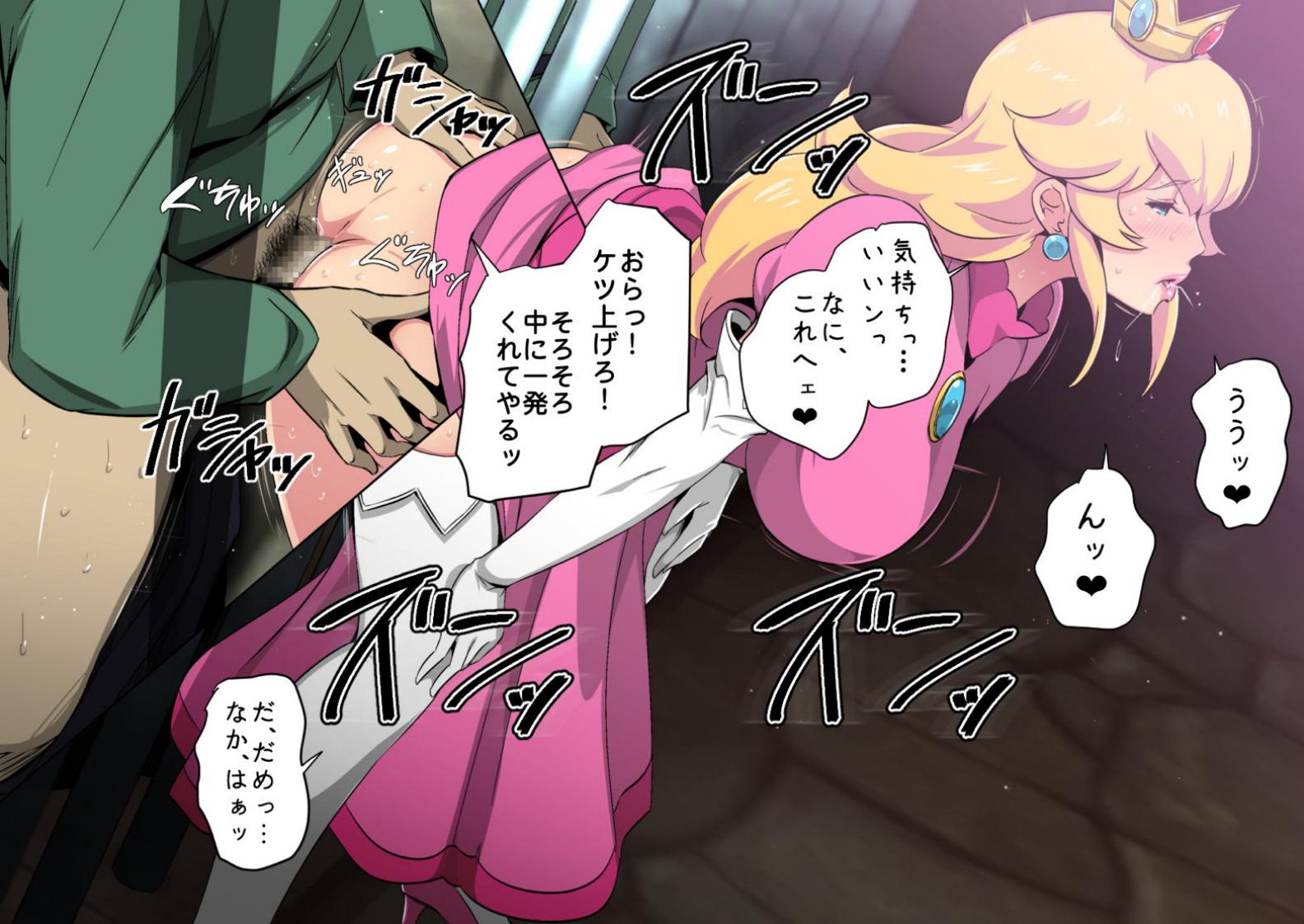
アリバ

その脳裏には愛する人への裏切りが  
幾度となくよぎるものなの、懲りぬ  
焦らされる苦しみが今はよりも勝つてゐるのです。

















「牢番の出した条件とは、自分を誘惑し、その気にならせるのが目的でした。

これですか？

なんの冗談だ？  
ただ脱いだだけ？

本気で困つてなんなら  
言つてられんだけ

でもツ…  
これ以上…  
どうすれば…！

仕方がうえいで  
仕方ねえんだろ？  
そいつに身を  
容せいでみりや  
容易いだろうよ

姫の方  
心がどれほど  
欲望に支配されて  
いるか…

最初こそ戸惑いを隠せない姫でしたが、  
牢番の言われるがまま、言葉を紡ぎました。

私の、ここ…  
おいえ…お…  
おま、んこを…

どうか貴方の  
逞しいチンポで…  
鎮めてください…

この…ア…  
肉熱く滾った  
肉壺の奥に…  
ドロドロの  
種付けザーメン…  
何発も撃ち込んで  
ほしいんです…

：：知り得る限りの卑語が、次々に口から吐いて出る  
ことに、彼女自身も驚いているようでした。



ん正浸この  
で気るの  
すでだ余  
ういいけ韻  
：らでに  
れは  
な：  
い

み：見えますか？  
先ほど中出しされて  
溢れたザーメンう…  
…♥

想像以上での  
効果目だな、  
あのキノコ…

少しの時間で  
ここまでコトが  
運ぶとはな

フ下言格  
フ品葉好も  
フに遣も  
つも  
て…

これえ…♥

この男臭い汁が  
もっと欲しい…♥

心配…  
これマッタりや  
いらんや

さズい  
つけ  
され  
てコズ  
ぱい  
一  
番  
深  
いと  
こ  
ろに  
流  
し  
込  
まれ  
た  
い…  
♥

今度は牢屋の中  
で抜  
が  
い  
つ  
ち  
りと犯  
し  
や  
る  
ぜ

可愛がつちつで待つやつてやるぜりな  
ベッドでてた待つてやるぜりな

ありがほお  
ごらいまふ  
…

約束は約束だ  
ちやんと  
守つてやるよ

よオシ…  
やれば出来る  
火がついて俺も  
きたぜ

ペロッ  
ハラハラ…

コシクダケの効力とともに、  
牢番の卑劣な思惑にも屈してしまったピーチ姫。

こうなつてしまつたら、最後。  
あとはひたすら墮ちていくばかりません……

わから、ませんつ…  
なぜ、こんなに…  
なつたのか…  
もう、なにも  
考えてられない…

おうおう：  
別ついいさつきまでと  
別人みたいだな  
こりや元々からの  
素養もありそุดな  
メス豚としてのよだな

ギニー

いそ  
いさ  
で

ん  
あ  
…

ぬる、

あは  
へ  
エ  
…  
♥

ん  
ふ  
う  
♥

ぬる

ぬる

ちる..

ぬる

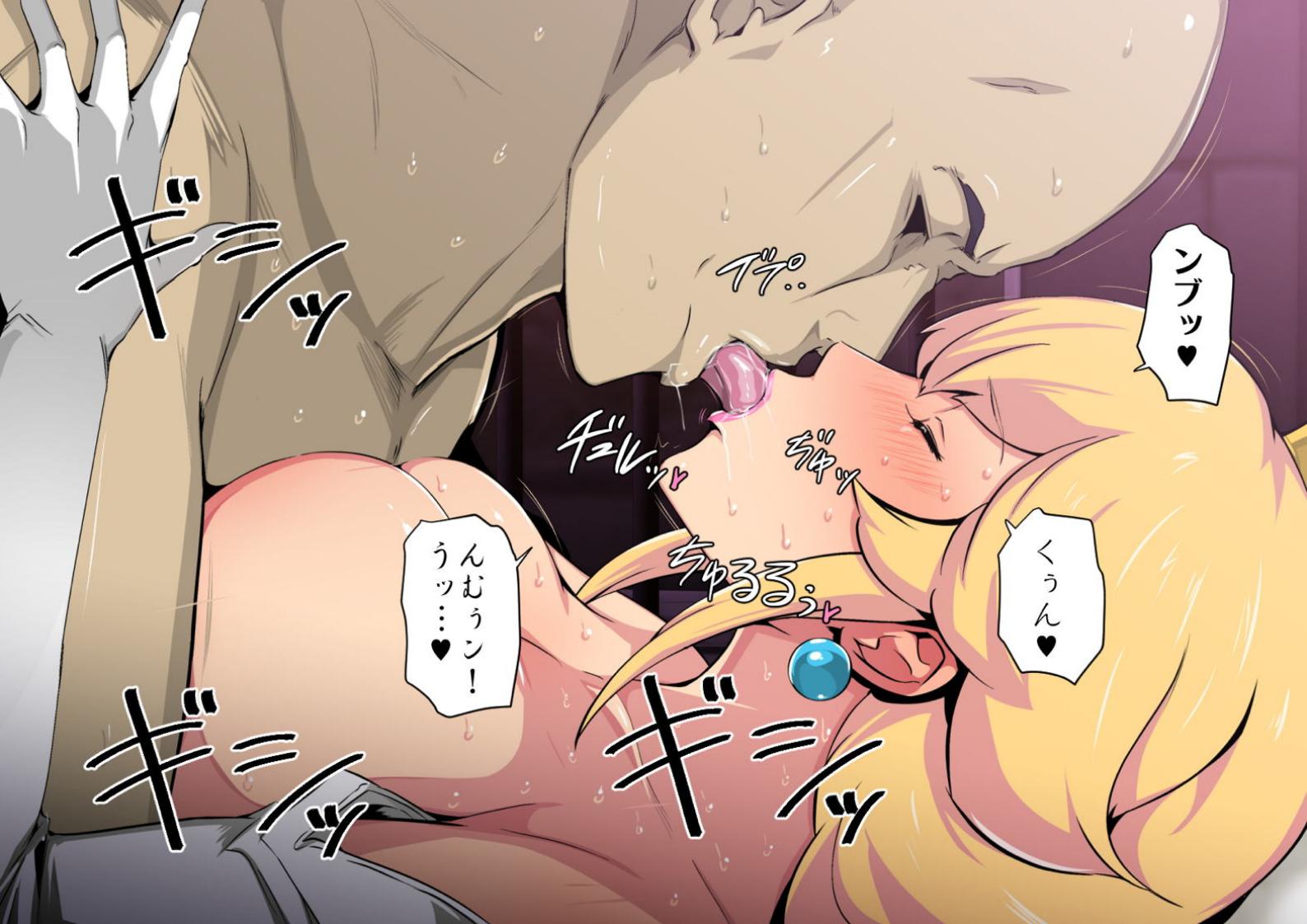
ちる

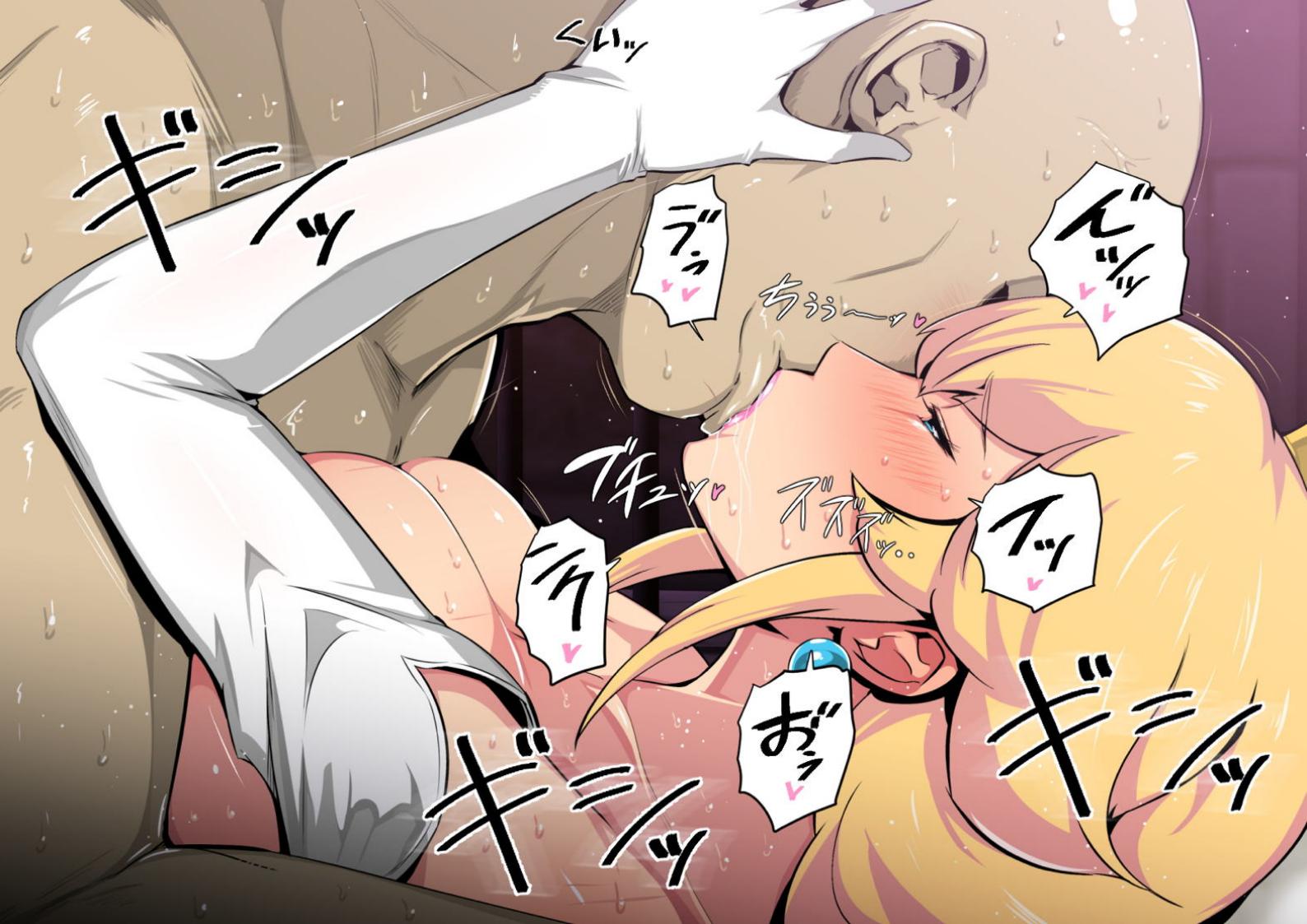
ぬる

國も男も忘れて  
俺にすべて委ねて  
りやいい  
いい奴隸で  
お似合いだぜ

どに  
れく  
い  
…











な振ふるつてきもサマツ  
自分で飛び跳ねさせて、  
へんてきなあに！

へ  
ア  
♥

い  
カ  
タ  
ン  
あ  
…  
♥

ふ  
オ  
♥

大飛でつけえ桃尻  
層なもんだけぜ！

それで  
どうなんだ?

ヒゲオヤジのと  
比べてみてよッ

そツ…  
うツ  
♥

こ、コツチが  
イイ…ですウ  
♥

後戻りできねえ  
つてか、ハハハ！

あツ…!?

なるほどねえ  
いいコだ：  
よく言えたな

ま…まだ  
終わつてな…  
「ア」

なあに、心配  
すんな  
気が向いたから  
ちよいとご褒美を  
くれてやるだけさ

びごほう、  
び…ご…?









その後も一人は、瓶が外れたかのように交わり続けました。



本来なら結びつく事すらなかつた者同士の、濃密な時間…

牢番の精のほとんどは、ピー・チ姫の膣内へと注ぎ込まれていきました。



「この人は…私を確実に身籠らせるつもりなのね…」  
終わりのない絶頂に身を委ねながら、姫はそう語りました。

ハホヒ

使  
う  
が  
え  
ま  
ッ

ハホヒ

ブ  
ロ  
ッ

ブ  
ロ  
ッ

ハホヒ

ニ  
ニ  
ニ

く  
モ  
ッ



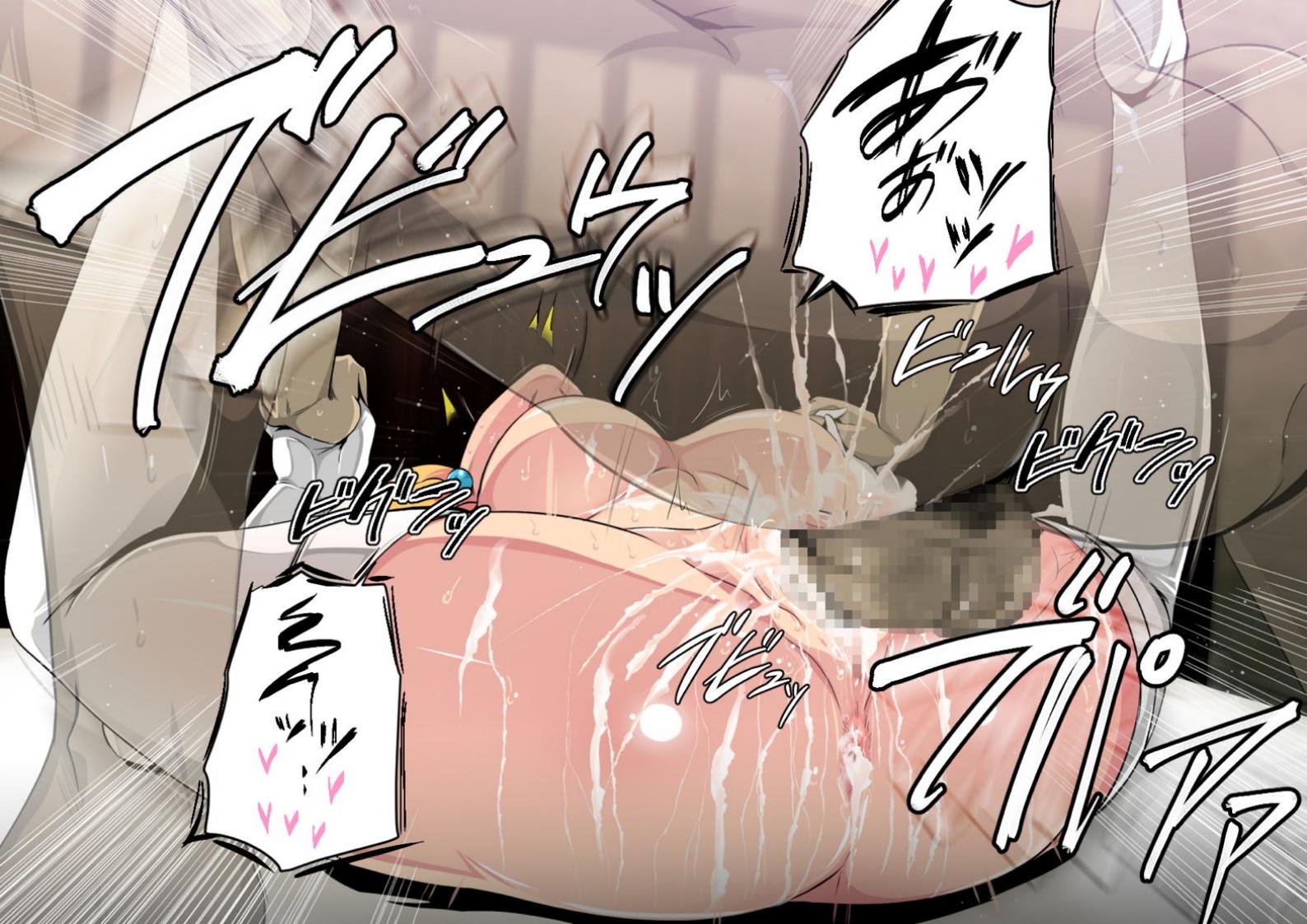
仕上げの種付け、  
一番奥にキメて  
やるからよオ！

おいツ！  
じやねえぞん  
まだへばるツン

ら、め  
もうあ  
ちゃつ  
にいっ  
てふれ  
るれ…







…くううう…  
よオ〜〜し…

これで粗方  
しきりで粗方  
したぜえ…

おお

アインタも  
いい気分だろ  
お望みどおり、  
ザーも下も  
まみれだん

コホッ…



こうして、クッパ城の「ありふれた光景」は、たった一人の脇役によつて覆されたのでした。



この後、姫にどんな未来が待ち受けているのかは、まだ誰にも知る由もありません

《Fin.》